

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社ビーイング  
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 津田 能成  
 (氏名) 後藤 伸悟

TEL 059-227-2932

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	2,439	75.1	△52	—	△27	—	△45	—
21年3月期第3四半期	1,393	—	△428	—	△404	—	△415	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△5.79	—
21年3月期第3四半期	△52.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,072	1,515	37.2	192.63
21年3月期	4,300	1,558	36.2	198.10

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 1,515百万円 21年3月期 1,558百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,440	53.6	65	—	85	—	70	—	8.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 8,257,600株 21年3月期 8,257,600株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 391,240株 21年3月期 391,240株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 7,866,360株 21年3月期第3四半期 7,866,838株

**※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業利益に反映するという特徴があります。

業績予想の前提となる仮定等については4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における建設業界は、期の始めは補正予算による下支え効果がみられたものの、期の後半は、公共建設投資の凍結や削減、事業仕訳による先行き不透明感から企業のIT設備投資意欲が急速かつ大幅に減退いたしました。

このような状況の中、当社グループは、中核商品である土木工事積算システムを中心とした「建設ICTソリューション」による提案型ビジネスを推進するとともに、プロジェクトマネジメント・ソフト「BeingManagement2(BM2)」を新たに投入し、建設業にとどまらない幅広い業界への展開をはかってまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、連結子会社の売上高が加わった効果も含め、前年同期に比べ75.1%増の2,439百万円となりました。

利益面では、期の前半は堅調に推移いたしましたが、期の後半にかけてお客様のIT設備投資意欲の後退から急速に売上高が減少したため、原価低減効果が追いつかず経常損失27百万円（前年同期は404百万円）となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の四半期純損失は45百万円（前年同期は415百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて227百万円減少し、4,072百万円となりました。これは、流動資産において現金及び預金が84百万円増加した一方で、売上債権が276百万円減少したことなどにより174百万円の減少、固定資産において無形固定資産が44百万円減少したことなどにより52百万円減少したことによるものです。

負債につきましては、買掛金が41百万円、賞与引当金が74百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて184百万円減少し、2,557百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純損失45百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて43百万円減少し、1,515百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.0ポイント増加し、37.2%となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて84百万円増加し、630百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は113百万円となりました。これは主に、減価償却費61百万円、売上債権の減少276百万円などによる資金の獲得があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動により28百万円の資金を支出いたしました。これは、主として無形固定資産の取得による支出28百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

第3四半期連結累計期間における財務活動におけるキャッシュ・フローはありません。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の後半に明らかとなった公共建設投資の停止や削減の方向性が、今後すみやかに見直されるとは考えにくいことから、なおしばらく建設業のIT設備投資は低調に推移すると考えております。

当社グループとしましては、そのような環境にあっても、建設ICTによる戦略的製品展開とBM2を中心とした新市場の開拓によって、引き続き平成21年5月15日に公表いたしました業績予想で掲げた当期「黒字化」に向けて邁進する所存であります。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、連結子会社である株式会社プラスバイプラスドットコムは、平成21年7月1日に株式会社プラスバイプラスに社名変更しております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,330,037	1,245,432
受取手形及び売掛金	293,038	569,460
有価証券	1,259,520	1,252,722
商品及び製品	1,431	3,185
原材料及び貯蔵品	6,151	6,109
その他	44,325	27,266
貸倒引当金	△6,900	△1,950
流動資産合計	2,927,605	3,102,226
固定資産		
有形固定資産	250,592	259,950
無形固定資産		
のれん	399,310	415,142
その他	117,864	146,810
無形固定資産合計	517,174	561,952
投資その他の資産		
その他	394,877	393,311
貸倒引当金	△17,335	△17,092
投資その他の資産合計	377,542	376,219
固定資産合計	1,145,309	1,198,122
資産合計	4,072,914	4,300,348
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,223	63,820
未払法人税等	14,800	16,369
繰延税金負債	318	570
前受収益	760,938	788,440
賞与引当金	64,475	139,174
その他	247,888	156,927
流動負債合計	1,110,644	1,165,303
固定負債		
退職給付引当金	247,121	222,330
役員退職慰労引当金	507	17,600
繰延税金負債	253	—
長期前受収益	1,199,064	1,336,780
固定負債合計	1,446,946	1,576,710
負債合計	2,557,590	2,742,014

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	1,814,358
利益剰余金	△81,068	△1,651,864
自己株式	△85,513	△85,513
株主資本合計	1,617,901	1,663,481
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△102,577	△105,147
評価・換算差額等合計	△102,577	△105,147
純資産合計	1,515,323	1,558,334
負債純資産合計	4,072,914	4,300,348

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,393,234	2,439,450
売上原価	488,696	719,413
売上総利益	904,538	1,720,036
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	23,137	—
貸倒引当金繰入額	3,549	—
役員報酬	54,054	—
給料及び手当	567,169	—
賞与	65,749	—
賞与引当金繰入額	33,203	—
退職給付費用	5,831	—
福利厚生費	98,201	—
旅費及び交通費	120,254	—
減価償却費	9,929	—
賃借料	94,032	—
研究開発費	25,258	—
その他	232,902	—
販売費及び一般管理費合計	1,333,273	1,772,337
営業損失(△)	△428,735	△52,300
営業外収益		
受取利息	19,042	15,084
受取配当金	165	169
保険解約返戻金	4,894	7,356
その他	300	2,641
営業外収益合計	24,402	25,251
営業外費用		
雑損失	34	494
営業外費用合計	34	494
経常損失(△)	△404,366	△27,544
特別利益		
償却債権取立益	—	24
受取和解金	23,895	—
役員退職慰労引当金戻入額	220,409	—
特別利益合計	244,304	24
特別損失		
固定資産除却損	128	537
固定資産売却損	—	247
有価証券売却損	239,125	—
リース解約損	—	3,632
投資有価証券評価損	500	—
事務所移転費用	3,786	1,598
特別損失合計	243,541	6,016
税金等調整前四半期純損失(△)	△403,602	△33,535
法人税、住民税及び事業税	11,509	12,044
法人税等合計	11,509	12,044
四半期純損失(△)	△415,112	△45,580

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	470,158	668,413
売上原価	165,114	231,204
売上総利益	305,043	437,209
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,221	—
貸倒引当金繰入額	984	—
役員報酬	17,319	—
給料及び手当	196,239	—
賞与引当金繰入額	33,203	—
退職給付費用	1,649	—
福利厚生費	21,911	—
旅費及び交通費	40,035	—
減価償却費	3,317	—
賃借料	31,434	—
研究開発費	5,496	—
その他	77,841	—
販売費及び一般管理費合計	437,655	568,675
営業損失(△)	△132,612	△131,466
営業外収益		
受取利息	4,677	4,151
受取配当金	32	32
その他	242	1,325
営業外収益合計	4,953	5,509
営業外費用		
雑損失	34	0
営業外費用合計	34	0
経常損失(△)	△127,693	△125,956
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	220,409	—
特別利益合計	220,409	—
特別損失		
固定資産除却損	112	155
有価証券売却損	239,125	—
リース解約損	—	289
事務所移転費用	3,786	44
特別損失合計	243,024	489
税金等調整前四半期純損失(△)	△150,308	△126,445
法人税、住民税及び事業税	3,964	3,976
法人税等合計	3,964	3,976
四半期純損失(△)	△154,272	△130,422

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△403,602	△33,535
減価償却費	49,317	61,765
のれん償却額	—	15,831
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,549	5,192
賞与引当金の増減額(△は減少)	△43,895	△60,269
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,404	24,791
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△218,993	△17,092
受取利息及び受取配当金	△19,207	△15,253
有価証券売却損益(△は益)	239,125	—
固定資産除却損	128	537
投資有価証券評価損益(△は益)	500	—
保険解約損益(△は益)	△4,894	△7,356
リース解約損	—	3,632
和解金	△23,895	—
売上債権の増減額(△は増加)	109,922	276,421
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,502	1,711
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,571	△41,597
未払又は未収消費税等の増減額	—	32,177
前受収益の増減額(△は減少)	21,520	△27,501
長期前受収益の増減額(△は減少)	31,248	△137,715
その他	26,046	34,084
小計	△226,794	115,822
利息及び配当金の受取額	16,198	13,131
和解金の受取額	23,895	—
法人税等の支払額	△15,210	△16,149
法人税等の還付額	2,887	3,542
その他の支出	—	△3,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	△199,022	113,004
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200,000	△268,000
定期預金の払戻による収入	200,000	268,000
有価証券の取得による支出	△980,402	△4,991
有価証券の売却による収入	1,081,987	—
有形固定資産の取得による支出	△6,394	△2,346
有形固定資産の売却による収入	—	124
無形固定資産の取得による支出	△53,398	△28,666
投資有価証券の取得による支出	△50,000	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	300,000	—
子会社株式の取得による支出	△214,313	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△4,679
敷金及び保証金の回収による収入	—	4,560
保険積立金の積立による支出	△157	△157
保険解約による収入	40,459	7,356
その他の収入	△10,593	400
投資活動によるキャッシュ・フロー	107,187	△28,399

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△114	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91,950	84,604
現金及び現金同等物の期首残高	623,330	545,432
現金及び現金同等物の四半期末残高	531,380	630,037

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月1日付で、その他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振替えて欠損填補をいたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、その他資本剰余金が1,616百万円減少し、利益剰余金が1,616百万円増加しております。

「参考」

個別決算業績の推移

(単位：百万円)

	平成21年3月期				平成22年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	475	447	470	623	728	654	528
(対前年同四半期増減率)	(—)	(—)	(—)	(—)	(53.2%)	(46.2%)	(12.3%)
経常利益(△損失)	△131	△145	△127	△19	61	17	△103

(注)平成21年3月期第3四半期以降の四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。また、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。